

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年10月30日(2014.10.30)

【公表番号】特表2010-503613(P2010-503613A)

【公表日】平成22年2月4日(2010.2.4)

【年通号数】公開・登録公報2010-005

【出願番号】特願2009-521072(P2009-521072)

【国際特許分類】

C 0 7 K	7/08	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/08	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	11/02	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	33/00	(2006.01)

【F I】

C 0 7 K	7/08	Z N A
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	11/02	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	37/04	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	43/00	1 0 5
A 6 1 P	33/00	

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年9月8日(2014.9.8)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 4 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 4 4】

さらに、本発明に含まれるペプチドは、その塩基配列の第5番にアルギニン(arginine)、トレオニン(threonine)、セリン(serine)、アスパラギン酸塩(aspartate)、又は、その他の親水性の極性アミノ酸を有することが好ましい。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項1

【訂正方法】変更

## 【訂正の内容】

## 【請求項 1】

13個のアミノ酸からなる抗炎症性、及び／又は、抗アレルギー性合成環状ペプチドであって、

第4番、及び、第13番にシスティンを有し、

第1番にバリン、ロイシン、又は、イソロイシンを有し、

第3番にアルギニン、又は、グルタミンを有し、

第5番にアルギニン、トレオニン、セリン、又は、アスパラギン酸塩を有し、

第7番にメチオニン、又は、イソロイシンを有し、

第9番にグリシン、又は、アスパラギン酸塩を有し、

第11番にリシンを有し、そして、

前記第4番及び前記13番のシスティン残基間のジスルフィド結合によって前記環状の構造が形成されている

ことを特徴とする合成環状ペプチド。